

令和6年7月発行

令和6年度

評価と評定について

江戸川区立清新第一中学校

学習進路指導部

令和6年度 清新第一中学校の評価・評定について

1. 評価・評定を生徒、保護者、進路希望先にお伝えする場面

評価は、学習活動のさまざまな場面でを行い、生徒の学習改善や教員の授業改善に活用していきます。年間を通じた評価及び評定は3学期の通知表に示しますが、その途中経過は次のように示します。

		1・2年生			3年生			
		1学期 通知表	2学期 通知表	3学期 通知表	1学期 通知表	2学期 通知表	2学期 調査書	3学期 通知表
各教科 道徳	1学期評価	○			○			
	1学期評定	○			○			
	2学期評価		○					
	2学期評定		○					
	1・2学期総合評価					○	○	
	1・2学期総合評定					○	○	
	学年総合評価			○				○
	学年総合評定			○				○
総合的な学習の 時間	1・2学期総合評価						○	
	学年総合評価			○				○
読書科	1・2学期総合評価						○	
	学年総合評価			○				○

※ 評価はABCまたは文章で表記し、評定は54321で表記する。

※ 道徳・総合的な学習の時間・読書科は、取り組み状況を評価して文章で示すが、評定はしない。

※ 進路希望先には3年2学期調査書を、進路先には3年3学期通知表と同じものを示すことになっています。

2. 各教科の評価規準

観点別学習状況評価で評価する4つの観点のうち、評定に用いる「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点はそれぞれA・B・Cの3段階で評価します。

指導計画上、期待される評価の80%以上をA 50%以上をB 50%未満をCと評価します。

「学びに向かう力・人間性等」における「感性・思いやり」については個人内評価として、A・B・Cという評価はしません。

3. 各教科の評定基準

観点別学習状況評価で評価する4つの観点のうち、評定に用いる「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をA・B・Cで表す評価を総括して5・4・3・2・1の5段階で評定します。

指導計画上、期待される評価に対して、90%以上を5 80%以上を4 50%以上を3 20%以上を2 20%未満を1 と評定します。

なお、評定は各観点の評価を下記の割合で総合した到達度であり、定期考査の結果のみでの算出ではないことにご留意ください。

【3観点ABC評価を総括して評定を算出する際の割合】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
国・数・英	35%	35%	30%
社・理・音・美・保体・技家	40%	30%	30%

国語

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言等） ②提出物（ノート、ワーク、レポート、振り返りシート等）
- ③書写作品（硬筆、毛筆） ④話す聞く活動の取組（スピーチ、ディスカッション、プレゼンテーション等）
- ⑤書く活動の作品（意見文、課題作文、鑑賞文、批評文、手紙、和歌や詩の創作等）
- ⑥小テスト（読解、漢字、文法、聞き取り等） ⑦定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使えるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。							
学習活動 観 点		①授業観察	②提出物	③書写作品	④話す聞く活動の取組	⑤書く活動の作品	⑥小テスト	⑦定期考査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
知識及び技能	知識・技能	△		○	○	○	○	◎	・漢字や文法事項などについての知識が正確に身についているか。 ・語彙を豊かにし、適切に使うことができるか。 ・古典作品に現れた見方、考え方を知っているか。
思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現	△	○		○	○	○	◎	・表現に注目して相互関係や心情を読み取ったり、根拠を明確にして読んだりできるか。 ・課題について自分の考えをもち、深めているか。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○	△	・自分の思いや考えを進んで伝え合おうとしているか。 ・課題に対して、工夫したり努力したりして自分の力を十分に発揮しようとしているか。
	感性・思いやり	個人内評価							各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況等

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、漢字、語彙、文法事項、言葉遣い、表現技法について理解を深め、適切に使っている。
- ・「情報の扱い方に関する事項」では、情報と情報との関係や、情報の整理の仕方について理解している。
- ・「我が国の言語文化に関する事項」では、古典作品に現れた見方や考え方を知り親しむとともに、書写においては字形や目的や必要に応じた書き方を理解し使っている。

【思考・判断・表現】

- ・「話すこと・聞くこと」では話題を設定し、構成を検討し、表現を工夫して話している。話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめている。互いに尊重しながら結論を導くために考えをまとめている。
- ・「書くこと」では題材を設定し、構成を検討し、自分の考えが伝わる文章になるように記述している。
- ・「読むこと」では構造と内容を把握し、それを精査・解釈し、それをもとに自分の考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・各単元の課題に、主体的に取り組もうとしている。
- ・言葉が持つ価値に気づき、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。

社 会

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言等） ②提出物（ワーク・ファイル等） ③単元ふりかえりシート
④レポート ⑤小テスト ⑥定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。						
学習活動		① 授業 観察	② 提 出 物	③ 単 元 ふ り か え り シ ー ト	④ レ ポ ー ト	⑤ 小 テ ス ト	⑥ 定 期 考 査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
観 点								
知識及び 技能	知識・技能				○	○	◎	・基礎的な知識を身につけさせ、その成果を評価する。 ・資料から情報を得たり、資料をもとにまとめることができているか評価する。
思考力・ 判断力・ 表現力等	思考・判断・表現	△	○	○	○	△	◎	・既習事項を基に、問いに対して考え自分の考えを適切に表現できているか評価する。 ・既習事項の知識をどのように活用すべきか、指導する。
学びに 向かう力・ 人間性等	主体的に学習に取り組む態度	△	○	○	△	△	△	・知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を高めるための取り組みの内容や様子を評価する。
	感性・ 思いやり	個人内評価					各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など	

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・各単元の特徴を踏まえて理解している。
- ・諸資料から得た情報を活用している。

【思考・判断・表現】

- ・各単元の特徴を、多面的多角的に考察し、表現している。
- ・様々な諸課題について、公正に判断したり、思考・判断したことを説明したりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・各単元に関する課題を、主体的に追究、解決しようとしている。
- ・各単元に関する学習を、粘り強く取り組もうとしている。

数 学

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言等） ②提出物（ノート、ワーク、レポート） ③単元テスト ④小テスト
⑤定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学と社会との関連についての理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成していく。				
観 点	学習活動	① 授 業 観 察	② 提 出 物	③ 単 元 テ ス ト	④ 定 期 考 査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
	知識及び技能	○		◎	◎	基本的な事項の理解をしている 基本的な技能を身に付けている
思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現	○	◎	○	◎	知識・理解を活用し問題解決に必要な思考力、判断力、表現力を身に付ける。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度・感性・思いやり	◎	◎	○	△	知識・技能、思考力・判断力・表現力を身に付けようと主体的に取り組んでいる 各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など
		個人内評価				

(3) 評価規準

- ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則など理解する。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理する能力を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付ける。
- ・数量や図形などの性質を見だし総合的・発展的に考察する力を身に付ける。
- ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を身に付ける。
- ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする力を身に付ける。

理科

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言、実験操作等） ②提出物（ワーク、ノート） ③小テスト
④レポート（実験レポート、長期休業中の課題） ⑤定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					
観 点	学習活動	① 授業観察	② 提出物	③ 小テスト	④ レポート	⑤ 定期考査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
	知識及び技能	○		○	○	◎	・基本的な知識が身に付いているか。 ・正しい操作方法で実験が行えているか。 ・実験結果を整理できているか。
思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現	△		○	○	◎	・実験結果をもとに、科学的に思考・表現できているか。 ・既習事項をもとに、問いに対して思考し適切に表現できているか。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度	◎	◎		△	△	・知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を高めるための取り組みの内容や様子を評価する。
	感性・思いやり	個人内評価					各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・自然の事物・現象についての基本的な概念や、原理・法則を理解している。
- ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

- ・見通しをもって観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、特徴、規則性、関係性、共通点や相違点を見出して表現している。
- ・課題に対し、科学的に探究し解決している。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。
- ・主体的に問題解決しようとしている。

音楽科

(1) 評価方法

- ①授業観察（学習活動に取り組む姿勢、発言、発表等） ②提出物（相互評価表、ワークシート等）
 ③実技テスト（発表等含む） ④定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		①	②	③	④	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
観点	学習活動	授業観察	提出物	実技テスト	定期考査	
	知識及び技能	知識・技能	◎	○	◎	◎
思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現	◎	○	◎	◎	・鑑賞では、音楽の構造や曲の背景を理解し、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 ・表現に必要な知識や技能を生かして、音楽表現を創意工夫することができる。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度	◎	◎	◎	○	・主体的・協働的に学習に取り組み、知識・技能を高め、思考・判断・表現の資質・能力を高めようとしている。
	感性・思いやり	各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など				

(3) 評価規準

・1年

曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。

・2・3年

曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

・1年

音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

・2・3年

曲にふさわしい音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

・1年

主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

・2・3年

主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

美術科

(1) 評価方法

- ①授業観察（課題への取り組み、準備、片付け等） ②提出物（学習プリント・クロッキー帳） ③制作物
④アイデアスケッチ ⑤振り返りカード ⑥鑑賞課題 ⑦定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する							
観点	学習活動	①授業観察	②提出物	③制作物	④アイデアスケッチ	⑤振り返りカード	⑥鑑賞課題	⑦定期考査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
	知識及び技能	知識・技能	○	○	◎	○			
思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現	○	○	◎	◎	○	◎		造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができている。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度	◎	◎	◎	○	◎	○		主体的に知識・技能、思考力・判断力・表現力の資質・能力を高めようとしている。
	感性・思いやり	個人内評価							各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など

(3) 評価規準

【知識・技能】

・1年

対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表している。

・2・3年

対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。

【思考・判断・表現】

・1年

自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。

・2・3年

自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

・1年

美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

・2・3年

美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

保健体育

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言等） ②提出物（学習ノート） ③学習カード
④実技テスト ⑤定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。					
学習活動		①	②	③	④	⑤	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
		授業観察	提出物	学習カード	実技テスト	定期考査	
観点	知識及び技能	○	○	○	◎	◎	知識・運動の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方などを理解する。 技能・種目に応じた技能を身につけている。種目の技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。
	思考力・判断力・表現力等	○	○	○	○	○	・自分の能力に適した課題を持っている。 ・課題解決を目指した練習や競技の仕方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度	◎	◎	○	△	△	・知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を高めるための取り組みの内容や様子を評価する。
	感性・思いやり	個人内評価					各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解している。
- ・運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。
- ・個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに基本的な技能を身につけている。

【思考・判断・表現】

- ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
- ・個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者へ伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。
- ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

技術・家庭科《技術分野》

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言等） ②提出物（プリント、ファイル等） ③製作（制作）物（ものづくり等）
④小テスト ⑤作業テスト（タイピング操作等） ⑥レポート ⑦定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。							
観点	学習活動	① 授 業 観 察	② 提 出 物	③ 製 作 物	④ 小 テ ス ト	⑤ 作 業 テ ス ト	⑥ レ ポ ー ト	⑦ 定 期 考 査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
	知識及び技能	知識・技能	○	○	◎	○	○	○	
思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現	○	◎	◎	△	○	○	△	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し実践を評価・改善し表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度	◎	○	◎	△	○	○	△	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造力を十分に発揮しようとしている。
	感性・思いやり	個人内評価							各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・材料や加工の特性等の原理・法則と材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解をしている。
- ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。
- ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて材料と加工の技術の概念を理解している。
- ・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。
- ・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。
- ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて生物育成の技術の概念を理解している。
- ・電気、運動、熱の特性等の原理・法則とエネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。
- ・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。
- ・生活や社会、環境との関わりを踏まえてエネルギー変換の技術の概念を理解している。
- ・情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解をしている。
- ・情報通信ネットワークの構成と情報を利用するための基本的な仕組みを理解し安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。
- ・計測・制御システムの仕組みを理解し安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。
- ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて情報の技術の概念を理解している。

【思考・判断・表現】

- ・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。
- ・問題を見いだして課題を設定し材料の選択や成形の方法等構想して設計を具体化するとともに製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。
- ・材料と加工の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。
- ・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。
- ・問題を見いだして課題を設定し育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。
- ・生物育成の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。
- ・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。
- ・問題を見いだして課題を設定し電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。
- ・エネルギー変換の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。
- ・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。
- ・問題を見いだして課題を設定し使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化するとともに制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。
- ・問題を見いだして課題を設定し入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。
- ・情報の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。
- ・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。
- ・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。
- ・主体的に情報の技術について考え理解しようとしている。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて材料と加工の技術を工夫し創造し力を十分に発揮しようとしている。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生物育成の技術を工夫し創造し力を十分に発揮しようとしている。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けてエネルギー変換の技術を工夫し創造し力を十分に発揮しようとしている。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて情報の技術を工夫し創造し力を十分に発揮しようとしている。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
- ・ものづくり等でのアイデアについて意欲的に考えようとしている。

技術・家庭科 《家庭分野》

(1) 評価方法

- ① 授業観察（グループワーク、発言、作業時の取り組み等） ② 提出物（プリント、総合ノート、課題等）
 ③ 製作物 ④ レポート ⑤ 定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標							
観 点	学習活動	① 授 業 観 察	② 提 出 物	③ 製 作 物	④ レ ポ ー ト	⑤ 定 期 考 査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
	知識及び 技能	知識・技能		○	◎	○	◎
思考力・ 判断力・ 表現力等	思考・判断・表現	○	◎	◎	○	△	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
学びに 向かう力・ 人間性等	主体的に学習に取 り組む態度	◎	○	◎	○	△	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。提出物をきちんとまとめ、期限までに完成させ提出しようとしている。
	感性・思いやり	個人内評価					・各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解しているとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。
- ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。
- ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。
- ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。
- ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。
- ・生活の中で食事が果たす役割や、中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。
- ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。
- ・中学生の一日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。
- ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。
- ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。
- ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。
- ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。
- ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。
- ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに適切にできる。
- ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。
- ・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。

- ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。
- ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。
- ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物質・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
- ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。

【思考・判断・表現】

- ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々との関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
- ・家族、幼児の生活又は地域の生活の中から課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。
- ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。
- ・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。
- ・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。
- ・食品の選択や調理の仕方調理計画に問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し課題を解決する力を身に付けている。
- ・日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。
- ・布を用いた物の製作について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。
- ・安全を考えた住空間について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。
- ・衣食住の生活の中から、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。
- ・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。
- ・消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し課題を解決する力を身に付けている。
- ・自分・家族の消費生活の中から、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・家族、幼児の生活又は地域の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・生活を豊かにするための布を用いた製作で、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・衣食住の生活の中から、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・自分や家族の消費生活のについて、課題の解決に主体的に取り組んだり工夫し創造し、実践しようとしている。

英語

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言、発表等）
- ②提出物（問題集、ノート、ワークシート、問題演習プリント、その他のプリント等）
- ③制作物（レポート、各種課題等） ※制作物による評価を行わない場合もあります。
- ④リスニングテスト（定期考査内で行う場合があります。単元テスト等として行う場合があります。）
- ⑤リーディングテスト（定期考査内で行う場合があります。単元テスト等として行う場合があります。）
- ⑥スピーキングテスト（定期考査内で行う場合があります。授業内でのディスカッション、ディベート、発表等を含みます。）
- ⑦ライティングテスト（定期考査内で行う場合があります。単元テスト等として行う場合があります。）
- ⑧定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。								
観点	学習活動	① 授業 観察	② 提 出 物	③ 制 作 物	④ リ ス ニ ン グ テ ス ト	⑤ リ ー ド ィ ン グ テ ス ト	⑥ ス ピー キ ン グ テ ス ト	⑦ ラ イ テ ィ ン グ テ ス ト	⑧ 定期 考査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
	知識及び技能	知識・技能	(△)	(△)	(△)	○	○	○	○	◎
思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現	(△)	(△)	(○)	○	○	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●自力で、即興で、言ったり、書いたりする能力を身につけることが大切です。 ●自力で、即興で、聞いたり、読んだりする能力を身につけることが大切です。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度	◎	◎	(◎)	○	○	○	○	(△)	<ul style="list-style-type: none"> ●提出物等は、やるべきものをすべてやっていること、期限までに提出することが大切です。 ●聞くこと・読むこと・話すこと（やりとり）・話すこと（発表）・書くことに積極的に取り組んでいる態度を評価します。（結果は問いません） ●あきらめずに粘り強く何度もトライすること、あるやり方で失敗しても別のやり方を模索し続けて目標を達成しようとしている ことなどが大切です。
	感性・思いやり	個人内評価								各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・「聞くこと」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。
- ・「読むこと」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。
- ・「話すこと（やりとり）」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。
- ・「話すこと（発表）」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。
- ・「書くこと」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

- ・「聞くこと」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要・要点を捉えている。
- ・「読むこと」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要・要点を捉えている。
- ・「話すこと（やりとり）」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。
- ・「話すこと（発表）」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。
- ・「書くこと」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・「聞くこと」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
- ・「読むこと」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。
- ・「話すこと（やりとり）」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
- ・「話すこと（発表）」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
- ・「書くこと」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。

英語科では、それぞれの観点(「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点)について、内容(「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の5内容)ごとに能力を評価します。したがって、毎学期、3観点×5内容=15種類の評価を行うことになります。

15項目中、定期考査の結果が大きくかわるのは、以下の表で○印が付いている6項目です。他の項目については、原則、定期考査以外で能力を評価していくことになります。

「通知表」で生徒に通知されるのは、以下の表の評価①～⑤を総括した「知識・技能」の評価(A・B・C)、評価⑥～⑩を総括した「思考・判断・表現」の評価(A・B・C)、評価⑪～⑮を総括した「主体的に学習に取り組む態度」の評価(A・B・C)、および、評価①～⑮を総括した評定(5・4・3・2・1)です。

		聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ●文字・単語・熟語問題 ●文法問題 ●1つの文を聞いて(読んで)その内容を理解する問題 ●1つの文を話して(書いて)情報を伝える問題 	評価① ○ ※	評価② ○	評価③ ×	評価④ ×	評価⑤ ○	評価①～⑤ 【計35点】 35点中の達成率に基づいて、A、B、Cの評価を与える。	評価①～⑮ 【計100点】 100点中の達成率に基づいて、5、4、3、2、1の評定を与える。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●複数の文を聞いて(読んで)その内容を理解する問題 ●複数の文を話して(書いて)1つの(または1つ以上の)まとまった情報を伝える問題 	評価⑥ ○ ※	評価⑦ ○	評価⑧ ×	評価⑨ ×	評価⑩ ○	評価⑥～⑩ 【計35点】 35点中の達成率に基づいて、A、B、Cの評価を与える。	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ●聞くこと・読むこと・話すこと・書くことを積極的に行おうとする態度を見るもの。(結果は問いません。) 	評価⑪ ×	評価⑫ ×	評価⑬ ×	評価⑭ ×	評価⑮ × ※※	評価⑪～⑮ 【計30点】 30点中の達成率に基づいて、A、B、Cの評価を与える。	

○・・・定期考査が大きく影響する項目

×・・・原則、定期考査以外で評価をする項目

(※印は、定期考査以外で評価する場合があります。)

(※※印は、定期考査で評価する場合があります。)